

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 水曜日・3校時	必修選択 必修	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	教養特別講義 / (Colloquium)		
対象年次 1年次	講義形態 講義・講演	教室 322・中部講堂	
対象学生(クラス等) Ef T22B	科目分類 共通基礎科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 近藤 寛 / Eメールアドレス: kondo-h@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 教育学部 / オフィスアワー: 15:00 ~ 17:00 石坂丞二 / Eメールアドレス: ishizaka@net.nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 水産学部 / オフィスアワー: 授業直後 岡市協生 / Eメールアドレス: okaichi@net.nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 医学部 / オフィスアワー: 16:00 ~ 17:30			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知るとともに、学生生活の拠点となる長崎についての多様な視点からの諸特徴について理解を深めることによって学生諸君が探求心と豊かな心を持ち、平和を支え、社会に貢献する人材となることを期待する。 授業方法 : 特別講演形式と講義形式の両建てにより行い、特別講演は学長、理事、名誉教授などが担当する。講義は、「長崎」「平和」「海洋と文化」の分野についてそれぞれ3回ずつ講義する。 授業到達目標: 特別講演により、長崎大学の理念に触れ、ものの見方・考え方の多様性、課題探求・学問の面白さを知る。講義により、学生生活の場である長崎の歴史、文化、自然を理解し、長崎大学に学ぶ学生としての自覚を促し、世界を理解する。被爆地長崎を通して平和について学び、平和を愛する豊かな人間性を育む。地球上全ての生命の維持に不可欠な海洋について学ぶ。さらに、古来より、大陸文化の伝来・発展・交流の街道の最前線であった長崎を理解する。アジアとの関係を含め、長崎の歴史、文化、平和について知識を広め互いにそれぞれの分野について議論できるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 長崎: 第1回 長崎県の地層、岩石、化石、鉱物などの分布と地史、及び地質災害、火山景観を説明する。 第2回 地質資源として石炭産業と観光事業、陶石、砕石、硯石などについて学ぶ。 第3回 長崎県の天然記念物(地質鉱物)、石垣、石碑など建造物での石材の利用、及び街角の岩石を学ぶ。 平和: 原爆被爆地にある長崎大学の学生が、平和を考える一環として原爆を取り上げる。 (1)原爆と放射線、(2)原爆の影響、(3)原子力発電と核拡散、について講義する。 原爆と放射線に関する知識を持ってもらうとともに、原子力発電にも関心を持ってもらいたい。 海洋と文化: 島と半島からなり、全国2位の海岸線に囲まれる長崎は、歴史的に見ても海洋との関わりが深い。3回の講義では、航海と海洋学の歴史、長崎県と水産業、海洋環境問題の3つのトピックについて学び、長崎県と海洋、さらに人間と海洋の関係について考える。 第1回 4月11日 特別講演 齋藤 寛 (学 長) 第2回 4月18日 平 和 岡市協生 (医学部) 第3回 4月25日 平 和 岡市協生 (医学部) 第4回 5月 2日 平 和 岡市協生 (医学部) 第5回 5月 9日 特別講演 岩永 浩 (名誉教授) 第6回 5月16日 特別講演 今田 正 (名誉教授) 第7回 5月23日 長 崎 近藤 寛 (教育学部) 第8回 5月30日 長 崎 近藤 寛 (教育学部) 第9回 6月 6日 長 崎 近藤 寛 (教育学部) 第10回 6月13日 特別講演 谷山紘太郎 (名誉教授) 第11回 6月20日 特別講演 玉利正人 (名誉教授) 第12回 6月27日 海洋と文化 石坂丞二 (水産学部) 第13回 7月 4日 海洋と文化 石坂丞二 (水産学部) 第14回 7月11日 海洋と文化 石坂丞二 (水産学部) 第15回 8月 1日 特別講演 福永博俊 (教育担当理事)			
キーワード	長崎:地質、石材、天然記念物、資源 平和:原爆、放射線、原子力発電 海洋と文化:船、水産業、海洋環境		
教科書・教材・参考書	長崎:教材として資料を配布して説明する。 平和:参考書:「原爆災害 ヒロシマ・ナガサキ」 岩波現代文庫 海洋と文化:特に指定しない。授業時に必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を紹介する。		

成績評価の方法・基準等	長崎30点、平和30点、海洋と文化30点、特別講演10点の配点とする。 長崎:毎回の授業レポート、ビデオ視聴のレポート、及び出席状況で評価する。 平和:毎回の小レポート、各10点 海洋と文化:小テストとレポート
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ /学習・教育目標	
備考(準備学習等)	